

# SAFETY DATA SHEET

January 25, 2023

## 1. 会社情報

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 製品名         | OSHIROX 落書防止 α OXC-2100 α       |
| 会社名         | 株式会社 OSHIROX                    |
| 住所          | 〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋 4-1-55 |
| 部署          | 研究開発部                           |
| 電話 / FAX 番号 | 06-6690-7372 / 06-6690-7373     |

## 2. 危険有害性

|             |                     |                    |
|-------------|---------------------|--------------------|
| 物理的・化学的危険性: | 引火性液体:              | 区分 3               |
| 健康に対する有害性:  | 急性毒性:               | 経口: 分類できない         |
|             |                     | 経皮: 分類できない         |
|             |                     | 吸入: ガス: 分類できない     |
|             |                     | 吸入: 蒸気: 分類できない     |
|             |                     | 吸入: 粉塵、ミスト: 分類できない |
|             | 皮膚腐食性/刺激性:          | 分類できない             |
|             | 重篤な眼の損傷/刺激性:        | 分類できない             |
|             | 呼吸器感作性:             | 分類できない             |
|             | 皮膚感作性:              | 区分 1 B             |
|             | 生殖細胞変異原性:           | 分類できない             |
|             | 発がん性:               | 分類できない             |
|             | 生殖毒性:               | 分類できない             |
|             | 特定標的臓器 / 全身毒性 - 単回: | 分類できない             |
|             | 特定標的臓器 / 全身毒性 - 反復: | 分類できない             |
|             | 吸引性呼吸器有害性:          | 分類できない             |
| 環境に対する有害性:  | 水生環境有害性:            | 急性: 分類できない         |
|             |                     | 慢性: 分類できない         |
|             | オゾン層への有害性           | 分類できない             |

危険有害性絵表示:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報:

- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・引火性液体及び蒸気
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること 禁煙
- ・容器を密閉しておくこと
- ・静電気放電に対する措置を講ずること
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
- ・皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること

GHS分類に寄与する有害性成分:

N,N-ジブチルアミノメチルトリエタノール

その他の危険:

エアロゾルミストの吸入による健康障害に注意を要する。  
本製品は加水分解してエタノールを生成する (CAS-Nr. 64-17-5)。  
エタノールは物理的および健康に関する危険有害物質に分類される。  
加水分解速度およびそれによる製品から生ずる潜在的危険の関連性は、特定条件に大きく依存する。  
内分泌かく乱特性 - ヒト健康: この物質/混合物はREACH第57 (f) 条もしくは委員会委任規則 (EU) 2017/2100もしくは委員会規則 (EU) 2018/605によって内分泌かく乱特性を有すると考えられている成分を0.1%以上含まない。 内分泌かく乱特性 - 環境: この物質/混合物はREACH第57 (f) 条もしくは委員会委任規則 (EU) 2017/2100もしくは委員会規則 (EU) 2018/605によって内分泌かく乱特性を有すると考えられている成分を0.1%以上含まない。

3. 組成 / 成分情報

単一化合物・混合物の区分                      混合物  
毒物・劇物の区分                                  該当せず

成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)

| 成分                                              | 含有量 (%) | 化学特性   | 官報公示整理番号-化審法 | 官報公示整理番号-安衛法 | CAS番号   |
|-------------------------------------------------|---------|--------|--------------|--------------|---------|
| シリコーン、その他                                       | 70-80   | 非公開    | 非公開          | 非公開          | 非公開     |
| 脂肪族炭化水素 (灯油相当)                                  | 25-30   | 非公開    | 非公開          | 非公開          | 非公開     |
| アミノアルコキシシラン (皮膚感作性: 区分1B)                       | 0.5-5   | 非公開    | 非公開          | 非公開          | 非公開     |
| エタノール (発がん性及び生殖毒性: 区分1A, 特定標的臓器毒性 (反復ばく露): 区分2) | 0.05-2  | C2H5OH | 2-202        | 2-202        | 64-17-5 |

本製品は、高懸念物質 (SVHC) ( (EC) REACH規制No. 1907/2006、第57条) を0.1%以上含まない。

## 4. 応急処置

### 一般情報：

被災者を安全な場所へ移動する。救助者は、応急措置に備えて保護具を点検して着用する。アレルギー反応、特に呼吸器系への影響によるアレルギー反応が出た場合には、直ちに医師の診察を受ける。

### 目に入った場合：

直ちに清浄な水で最低10～15分間眼を洗浄し、医師の手当てを受ける。まぶたを十分に開き、眼とまぶたの裏側を洗浄する。医師の診察を受け、対象物質を明らかにする。

### 皮膚に付着した場合：

汚染された、もしくは濡れた衣服は脱ぎ捨てる。大量の水またはせっけん水で、直ちに10-15分間洗い流す。  
大量に被液した場合は、すぐに緊急シャワーで体全体を洗う。直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

### 吸入した場合：

患者を安静に保つ。意識がない場合、横向きに寝かせる。体温低下を防ぐ。  
呼吸停止の場合には人工呼吸を施す。  
直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

### 飲み込んだ場合：

多量の水を少量づつに分けて与える。吐き出させない。  
直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

### 医師による応急手当または特別な治療の必要性：

製品は感作性の可能性があり、アレルギーを引き起こすことがある。  
吸入後：できるだけ早くコーチゾンスプレーを用いて処置する。  
第11項に示す毒性に関する詳細情報に留意すること。多量の水を少量づつに分けて与える。  
吐き出させない。

## 5. 火災時の処置

### 消火剤

- |         |                                           |
|---------|-------------------------------------------|
| 消火剤     | ・耐アルコール性泡消火剤、炭酸ガス、霧状水、スプリンクラー装置、乾燥砂、粉末消火剤 |
| 使用不可消火剤 | ・棒状水                                      |

### 火災時の特有の危険有害性

- 火災時に有害なガスや煙が発生するおそれ
- 燃焼生成物に曝露した場合、健康リスクを与える可能性がある
- 有害な燃焼生成物：有毒および猛毒ガス。

### 火災予防に関する注意

#### 消火時に必要な保護具：

空気呼吸器を着用する 保護具を着用していない人を避難させる

### 消火方法

- ・棒状水を消火に用いてはならない。
- ・消火作業の際には、適切な保護具（耐熱性着衣等）を着用する。
- ・消火活動は風上から行う。
- ・周辺の引火性、可燃性のものは、水を噴霧し冷却すると共に、速やかに安全な場所に移す

## 6. 漏出時の処置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩エリアの安全を確保する。保護具（8項参照）を着用する。  
保護具を着用していない人を避難させる。眼や皮膚への接触を防ぐ。  
製品から発生するガス、蒸気、エアロゾルミストなどを吸入しないようにする。  
製品が床に飛散すると滑る危険がある。漏洩物の上を歩かない。

## 環境に対する注意事項

河川、海洋、湖沼、下水、土壌に流さない。  
危険性なく実施できるならば漏れ止めを行う。  
製品が広がらないように土などの適切なもので堰き止める。  
汚染された水や消火液を回収する。処分の指示を表示した容器に廃棄する。  
河川・海洋、下水、あるいは地面に漏れた場合、当局に知らせる。

## 封じ込め及び浄化の方法・機材

回収し、各自治体の廃棄処理法令等を確認して処分する。水で洗い流さない。  
少量の場合には、珪藻土のような中性（酸性でもアルカリ性でもない）吸着剤に吸収させ、法令に従って廃棄する。  
大量の場合：漏洩液は吸引装置またはポンプで回収できる可能性がある。  
可燃性液体の場合には、空気作動または防爆規格の適合する装置の使用が必要。  
滑り易い残留被膜は、洗浄剤／石鹼溶液又は生分解性洗剤を用いて除く。  
シリコーンは滑りやすい；漏洩物は安全上の危害品となりえる。  
砂など反応性のない粉状物を用いて通路の安全を改善する。  
追加情報：蒸気を排出する。火気の使用を禁止する。爆発防止対策を講じる。  
「7. 取扱い及び保管上の注意」を遵守する。

# 7. 取扱いおよび保管

## 取扱い注意事項

### 一般情報：

技術的処置又は個人保護装置を使って被曝を避ける。

### 安全取扱い注意事項：

十分な換気を確保する。  
サイフォンなどを利用して移送する。  
製品がこぼれた場合、滑りやすくなるので注意する。  
エアロゾルミストの形成を防ぐ。  
エアロゾルが発生する場合には、保護措置（吸引排気、呼吸保護）を講ずる。8項参照。  
10項に従って配合禁忌物質から遠ざける。

### 火災、爆発防止の注意事項：

製品はエタノールを遊離することがある。  
空容器内などでは空気と混ざること爆発性ガスを形成する恐れがある。  
引火源から離す。禁煙。 静電気帯電防止対策を行う。

危険な状態にある容器は水で冷却する。

#### 適切な保管条件

保管場所及び容器：市町村条例等を遵守する。

接触を避ける物質等：市町村条例等を遵守する。

その他の保管条件等：乾燥した冷所に保管する。湿気を防ぐ。十分に換気した冷所に容器を貯蔵する。

## 8. 暴露防止措置 / 保護措置

#### 作業環境の暴露限界値：

| CAS番号 | 化学物質          | タイプ | mg/m <sup>3</sup> | ppm | Dust fract. | 繊維質/m <sup>3</sup> |
|-------|---------------|-----|-------------------|-----|-------------|--------------------|
|       | エアロゾル — 吸入性画分 |     | 10.0              |     |             |                    |

上記の値は使用中にエアロゾルの生成を想定した時の推奨値である。

#### 曝露管理

##### 作業場所で暴露対策

一般的な保護対策及び衛生対策：

露出状態を避ける - 使用前に注意を促す。

化学物質の取扱いに関する標準的な産業衛生措置に注意を払う。

眼や皮膚への接触を防ぐ。

製品から発生するガス、蒸気、エアロゾルミストなどを吸入しないようにする。

適切な換気を行いながら使用すること。

食材、飲料及び食器類から遠ざける。

予防的に皮膚の保護具の使用を推奨する。

取扱い終了後には手を洗う。

作業服を別にする。

汚染し、濡れた衣服は速やかに脱ぎ捨てる。

作業エリアを定期的に清掃する。

シャワーと目洗浄を用意する。

取扱中は飲食及び喫煙をしない。

##### 保護具：

##### 呼吸用保護具

上記の職業暴露限度を超える吸入暴露が避けられない場合は、適切な呼吸器保護具を着用すること。

適切な呼吸保護具：EN 136規格等で認められたフルフェイスマスク付き呼吸保護具。

フィルタの推奨タイプ：EN 14387規格等で認められたABEKタイプのガスフィルタ（特定の無機、有機及び酸性ガス及び蒸気；アンモニア/アミン用）スプレー或いはエアロゾルに曝露する場合は、適切な呼吸保護具及び防護服を着用する。

適切な呼吸保護具：EN 136規格等で認められたフルフェイスマスク付き呼吸保護具。

フィルタの推奨タイプ：EN 14387規格等で認められたABEK-P2タイプのコンビネーションフィルタ（特定の無機、無機、及び酸性ガス及び

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 蒸気；アンモニア/アミン；粒子用）<br>呼吸保護具の使用時間限度及び装置メーカーの注意情報を遵守する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 眼の保護具         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 手の保護具         | 密着性が良い保護ゴーグル<br><br>本製品の取り扱いに際しては、常に保護グローブを着用すること。<br>手袋の推奨素材：ブチルゴム製保護手袋<br>素材の厚さ：＞ 0.3 mm<br>破過時間：＞ 480 min<br>手袋の推奨素材：ニトリルゴム製保護手袋<br>素材の厚さ：＞ 0.4 mm<br>破過時間：10 - 30 min<br>手袋メーカーからの浸透性や耐用期間に関する指示を遵守する。<br>切傷の危険、摩損、接触時間等の製品を使用する現場の特殊状況も考慮する。<br>耐薬品防護手袋の日常使用時間は、（温度等の）多くの作用要因により、テストで確認された浸透時間よりはるかに短いことに留意する。<br>皮膚及び身体の保護具<br>解放状態での取扱時：化学防護服、必要によっては液体防護用密閉服を着用すること。納入業者による透過性記述に注意すること。 |
| 環境への漏出対策      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 設備対策についての注意事項 | 河川、海洋、湖沼、下水、土壤に流さない。<br><br>7項参照。国内管轄官庁の規定を順守すること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 9. 物理的・化学的性質

|        |          |
|--------|----------|
| 外観状態：  | 液体       |
| 形状：    | ディスパーション |
| 色：     | 無色透明     |
| 臭い：    | 特異臭      |
| 臭気限度：  | データ無し    |
| pH：    | 非該当      |
| 融点：    | 非該当      |
| 沸点：    | 非該当      |
| 引火点：   | 35℃      |
| 持続燃焼性： | >110℃    |
| 蒸発率：   | データなし    |
| 爆発限界：  | 非該当      |

|               |                        |
|---------------|------------------------|
| 蒸気圧:          | データなし                  |
| 溶解度:          | 非該当                    |
| 蒸気密度:         | データなし                  |
| 相対密度:         | 0.9816 (25℃)           |
| オクタノール/水分配係数: | データなし                  |
| 自然発火温度:       | 410℃                   |
| 分解温度:         | データなし                  |
| 粘度:           | 5020mm <sup>2</sup> /s |
| 分子量:          | 非該当                    |

## 10. 安定性および反応性

|             |                                                                    |
|-------------|--------------------------------------------------------------------|
| 一般情報:       | 現時点において、通常の工業的取扱い及び保管において危険な反応等は報告されていない。<br>別項に関連情報が記載されている場合がある。 |
| 避けるべき条件:    | 湿気や熱、裸火、その他や発火源。                                                   |
| 不適合材料:      | 水、塩基性物質および酸と反応する。<br>反応によってエタノールが発生する                              |
| 危険有害な分解生成物: | 加水分解によりエタノール。 約150℃以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドが発生する恐れがある。                |

## 11. 毒性情報

### 有害性情報

#### 急性毒性

動物試験によると、アミノ変性シリコーンを含むエアロゾルの吸入は、肺に対して健康障害の恐れがある。  
多くの影響因子が存在するため(アミノ基、変性率、粘度、組成等)、当該製品群における肺への毒性学的影響を推定することは不可能である。  
このような場合、適切な技術的手段を講じて吸引性エアロゾルの暴露を防がなければならない。  
急性毒性推定値 (ATE):  
ATEmix (経皮): > 2000 mg/kg  
ATEmix (経口): > 2000 mg/kg

#### 追加の毒性情報

##### 物質に関するデータ:

##### 脂肪族炭化水素およびナフタレン系炭化水素:

文献によると脂肪族炭化水素は皮膚及び粘膜をやや刺激し、皮膚を乾燥させ、催眠作用を及ぼす。  
吸入等により肺が直接影響を受けると、肺炎の恐れがある。

加水分解生成物（エタノール）：

エタノール(64-17-5)はあらゆる暴露経路において良好且つ迅速に吸収される。  
エタノールは眼や粘膜を刺激したり、中枢神経系に支障をきたしたり、吐き気や、めまいを起こすことがある。大量エタノールへの慢性暴露は肝臓や中枢神経系の損傷をもたらすことがある。

## 12. 環境影響情報

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 有害性：      | 情報なし                 |
| 残留および分解性： | 情報なし                 |
|           | 加水分解生成物（エタノール）：易生分解性 |
| 生体蓄積性     | 情報なし                 |
| 土壤中移行性    | 情報なし                 |

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

推奨方法：

使用・加工・リサイクルされない材料は、国や地方自治体の規定に従って認可設備で廃棄処理すること。廃棄物規定次第では、埋立て或いは焼却処理等を含むことがある。

汚染容器及び包装

推奨：

液ダレ、残粉がないように注意深くかき出し、容器から中身を完全に取り除く。

容器はリサイクルできる場合がある。自社で廃棄処理する場合は、廃棄物処理関連法令及び条例等に従って処理する。製品の残った容器は、製品を廃棄する場合と同じ処理方法によって処分する。

## 14. 輸送情報

|    |                                                  |
|----|--------------------------------------------------|
| 共通 | 取り扱い及び保管上の注意の項に従うこと。                             |
|    | 容器に漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。 |

国内規制（陸上輸送）：

消防法区分：危険物第4類（引火性液体）、第2石油類（非水溶性液体）

危険等級：Ⅲ

海上輸送（IMDG Code）：

評価：危険有害性物質

国連番号：1993

Proper Shipping Name：Flammable liquid, n.o.s. (By hydrolysis: Ethanol)

クラス：3

危険等級：Ⅲ

航空輸送（ICAO/IATA）

評価：危険有害性物質

国連番号：1993

Proper Shipping Name：Flammable liquid, n.o.s. (By hydrolysis: Ethanol)

クラス：3

危険等級：Ⅲ

環境有害性：なし

海洋汚染物質（IMDG）：なし

MARPOL 条約付随書ⅡおよびIBC規制に基づくバルク輸送：タンカーにおけるバルク輸送は意図されていない

## 15. 適用法令

国/地域の規則を確認すること

|                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 化学物質排出把握管理促進法      | 非該当                                   |
| 毒物及び劇物取締法          | 非該当                                   |
| 労働安全衛生法 施行令別表第1危険物 | 非該当                                   |
| 労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則 | 非該当                                   |
| 労働安全衛生法 施行令第18条    | 灯油                                    |
| 第57条の2（通知対象物質）     | 政令番号 第380 号 灯油<br>政令番号 第61 号 エタノール    |
| 消防法                | 危険物第4類（引火性液体） 第2石油類（非水溶性液体）<br>危険等級：Ⅲ |

## 16. その他情報

本データシートは、作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報など）を集めて作成しておりますが、すべての情報を網羅したものでなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、安全性及び品質を保証するものではありません。

本製品のご使用に当たりましては、関係法規に従うと共に使用者において安全性の確認を十分に行ってください。